地域と学校 共に手を携えて 【第3回学社融合推進協議会】

三栖公民館区の令和4年度第3回学社融合推進協議会が開催され、活動実績や令和5年度の方針などが協議されました。

まず、2月10日に開催されたのは、衣笠中学校の学社融合推進協議会(写真上)。10名の委員らが参加する中、那須敏朗会長(三栖町内会副会長)が開会のあいさつを行った後、本年度の活動実績や来年度の事業計画について、校長や担当教諭から説明を受け意見交換を行いました。

また、2月28日には、三栖小学校と三栖幼稚園の同協議会(写真下)が三栖幼稚園で開催され、黄組と赤組の授業(ひな人形づくり)参観の後、会議が開催されました。寒川望三栖幼稚園長の開会あいさつの後、中学校と同様に校長や園長、担当教諭らから主な取組などについて説明を受け、参加者からは、それぞれの立場から授業の感想や意見が出されました。





閉会のあいさつで大倉日幸次三栖公民館長は、市内他地域の老人会が解散するとの話題を例に挙げ、希薄化する地域コミュニケーションの地域実状にも触れながら、町内会や公民館、学社融合の今後の重要性を訴え、協議会の幕を閉じました。

田辺市教育委員会では平成30年度から、それまでの学社融合の取組を発展させる形で「田辺市学社融合推進協議会」を設置し、地域の特色を生かしながら、学校、家庭、地域が一体となり、地域と共にある学校と学校を核とした地域づくりに向けた活動の展開を図ってきました。

今後もそれぞれの協議会で課題解決に向けて熟議を重ね、さらなる進化と発展に向けて持続可能な取組を推進していかなければなりません。三栖地域においても今後さらに学社融合事業が推進され、学校、家庭、地域のそれぞれが、手を携えながら共に発展していくことに期待したいものです。

)^o^(退任のごあいさつ (´ω`*)

3月31日をもって田辺市役所を退職いたしました。

ちょうど1年前、人生初めての定年退職を体験し、その後、再任用職員として三栖公民館(長野公民館兼務)の主事として配属されました。当初は、地域の皆さんの名前と顔が一致せず、土地も業務も地域文化も全く分からず、さらにはコロナ禍という非日常の対応が求められる中、何かと不安な日々を送っておりましたが、公民館や町内会、小中学校や園、それに関係団体や地域の皆さんに温かく接していただいたおかげで、本当に多くの事を体験し、楽しく当地域のことを学ぶことができました。

1年間という短い期間で、また至らぬ点も多々ありご迷惑をおかけしましたが、温かくて優しい地域性をあらためて肌で感じることができたことに感謝しつつ、これからは、公民館での素晴らしい経験と皆さんとの交流を忘れず、私自身の暮らしの中で生かしていければと思っています。

また趣味の写真撮影では、時間や天候を問わずカメラを持った怪しい老人が出没することもあろうかと思いますので、お見かけしましたら不審者とは思わず、どうかお気軽にお声がけください。

最後になりましたが、当地域と皆様の今後益々のご活躍と発展を祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。 ありがとうございました。

令和5年3月31日 浦野泰之

令和5年4月号



田辺市中三柄805番地 三柄コミュニティセンター内

TEL: (0739) 34-0022 FAX: (0739) 33-0836



主な掲載内容

- ・新年度のごあいさつ 大倉日幸次公民館長
- 三栖幼稚園だより 人は続き、道は続くほか
- ・三栖小学校だより 幼稚園交流と6年生を送る会
- 認知症を学ぶ三柄館区人権学習会
- 共に手を携えて 学社融合推進協議会
- 退任のごあいさつ 公民館主事

移動図書4月の予定

①4月20日(木)10:20~11:00三栖コミセン

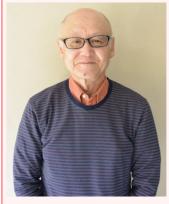
②4月21日(金) 13:15~14:45 三栖小学校

三栖館区人口統計 (2月末現在)

人 口:4,669 人前年比: +3 人

世帯数: 1,890 世帯前年比: +3 世帯

令和5年度を迎えて 三栖公民館長 大 倉 日幸次 「公民館活動にご支援・ご協力を」



令和5年度が始まりました。

新型コロナウイルスの新規陽性者数が全国で1万人を切るようにり、収束が見えてきました。厚労省は、5月にも新型コロナを5類感染症に移行するみたいです。やっとマスクなしの生活に戻ることができますね。

ロシアがウクライナに侵略戦争を仕掛けてから1年以上経ちましたが、まだまだ終戦、停戦に向けての方向は見いだせ

ていません。大規模な戦争は20世紀で終わったと思っていましたが、21世紀もかと、人類はなんと愚かかと思います。

コロナや戦争は大変な課題ですが、日本における最大の課題の一つが少子高齢化ではないでしょうか。昨年の出生数が80万人を切ったとの報道がありました。すごい勢いで人口が減少しています。新田辺市の人口の推移を見てみますと、平



成17年度(2005年度)には85,667人だったのが、令和5年度(2023年度)には69,456人です。

さて、三栖公民館区(三栖・城山台)の人口推移ですが、平成17年度は3,765人で、令和5年度は4,669人になっています。

田辺市の人口が減少する中、三栖公民館区は900人を超える 人口増になっています。多くの方々が三栖・城山台地域を評価 していただいたと嬉しく思っています。

三栖・城山台地域に暮らす皆様が、少しでも住んで良かったと感じられる地域を目指して公民館活動を進めたいと思っています。よろしくご支援・ご協力をお願いします。

写真(右下)は、三栖幼稚園児との衣笠山登山の様子。

【田辺市のホームページ(生涯学習課公民館係)では公民館だよりをカラーで閲覧することが可能です】

三栖公民館だより

★三栖幼稚園だより★

☆人は続き、道は続く☆



本園でも、20日には第61回修了証書授与式が行われ7名の園児が巣立っていきます。幼稚園、小学校、中学校へと別れと出会いを繰り返し、子どもたちは成長していきます。9年、10年後、園児達が今日のように中学校を卒業する日を迎えた時、どんな姿になっているんだろうと思いをはせていました。

人は続き、道は続く。成長する姿を見続けることは出来ませんが、共に過ごせる日々を大切にできたらと感じました。4月から始まる新しい一年。ご支援のほどよろしくお願いします。

☆ あか組だより ☆ もうすぐ年長「き組」だよ!☆

3月後半、年少あか組さんは年長き組さんのお友達とお別れする日が近づいてきています。 き組さんといっぱい遊びたいから、といつもより早い時間に登園する子。修了式の練習では 思わず涙があふれる子もいました。

お別れは少しさみしいですが、次はいよいよ自分たちがき組さん。楽しかった思い出を大切にしながら、4月から始まる新しい園生活を楽しみにしているあか組さんです。

☆き組だより☆修了式ごっこ☆



幼稚園最後になる行事の修了式の練習をしているき組さん。少し緊張気味ですが、みんなでいい式にしようと気持ちを合わせて頑張っています。

練習の後は、園長先生や来賓の方・お母さんの役になり修了式ごっこを始めています。園長 先生になりきり証書の授与を行ったり、式辞を したりと楽しそうに練習をしていますよ。

◆三栖小学校だより◆

…幼稚園との交流 …

3月1日に三栖幼稚園のみんなを小学校に招待し、交流会を開きました。1年生が今年1年間でできるようになったことや歌を披露し、最後にはみんなでじゃんけん列車をして遊びました。互いにとても楽しい時間になったことだと思います。1年生児童は





「幼稚園のみんなに喜んでもらえてよかった。また一緒に遊びたい。」と嬉しそうに話してくれました。幼稚園のみなさんが来年入学してきてくれることをみんなで心待ちにしています。

…6年生を送る会…





3月2日に6年生を送る会を 行いました。この会は、6年生 と1~5年生が一緒に様々な種 目に取り組むというものです。 計画・準備・進行は全て5年生 が行いました。どの学年の種目 もすごく盛り上がり、よい思い 出になったかと思います。

6年生児童は、「いろんな学

年と遊べてすごく楽しかった。卒業するのは寂しいけれど、小学校での楽しい思い出を胸に中学校でも頑張りたい。」と笑顔で話してくれました。

認知症を正しく知り 接し方を学ぶ【三栖人権学習会】

三栖公民館は3月3日、同館運営委員と文化委員、人権推進員等を対象に令和4年度人権学習会を三栖コミュニティーセンターで開催し、17名が参加しました。

この学習会の講師には、田辺市やすらぎ対策課地域包括支援センターで、認知症サポーター養成講座のキャラバンメイトして活躍中の山﨑孝江社会福祉士と、植田笑子保健師の2名をお招きし、認知症の方との接し方などを学びました。



また本学習会は、認知症の方や家族の方を温かく見守る「認知症サポーター」養成講座 も兼ねており、終了後は参加者の皆さんに、全国キャラバン・メイト連絡協議会のリスト バンドが配られました。

約1時間の学習でしたが、本講座の受講者と何も学習をしていない人では、認知症の方との接し方に大きな差が生じると感じました。1人でも多くの方に認知症のことを正しく理解していただき、認知症になったとしても安心して暮らせる田辺市になってほしいものです。写真は、学習会の様子。三栖コミュニティーセンターで。

2